

標高500メートルの山のとっぺん。
世羅高原の畑から、
農薬、化学肥料を使わずに育てた採れたての野菜をお届けします。

気持ちのいい青空が広がっています

朝、玄関のドアを開けた時の空気が、ヒヤッと冷たく感じられる季節。オクラの収穫をしながら、高いところにあるオクラの実に手を伸ばしたとき、見上げた空の青さに手が止まりました。

1回目の種まきをした大根が、芽を出しました。9月中旬に種まきをしたタマネギは、10日ほどで小さな芽を出し始めています。10月初めに露地の畑に定植するカブとホウレン草の種をまきました。が、6月末の“イノシシに食べつくされて人参全滅”のシーンが今も頭から離れず、今シーズンは人参の種まきができません。



〈大根〉

大根の芽が出ました。今年、首部が鮮やかな赤紫色になるミニ大根や、皮も中も赤い紅心大根の種もまいてみえています。

こぼれ種ってなんたかおもしろい

今、私が一番おいしいと思うミニトマトは、ハウス②のサトイモ保存用に掘った穴の横に、こぼれ種から生えたミニトマト。初めにいくらか整枝をしたくらいで水をやることもなく、勝手に(?)地面に葉を広げていきました。ところが、実が色づき始めた頃から何者か(?)に食べられてしまい、やっと今になって、食べてみたら、これがおいしくて!

実は、今シーズンの間引きゴボウも、こぼれ種から生えたもの。ハウスの中の青シソも食用ホオズキも、こぼれ種から生えたものを間引きながら育てて大きくしました。

夏の終わりのこの時期は、種をまいても苗を植えても、虫たちに食べられてしまう心配をしなくてはいけない時期なのに、露地の畑では、こぼれ種から生えた菜っ葉が、虫に食われることなく大きくなってきています。いったい何が違うのか…。もしかしたら、この広い畑は宝の山(?)なのかもしれません。



〈オクラ〉

気温が下がってきたので、大きくなるのに時間がかかるようになってきました。背が高くなって、空を見上げるようにして収穫しています。大きな実は、種採り用のオクラです。

〈10月の野菜〉

□露地の畑では、地ばいキュウリ、ナス、米ナス、緑ナス、オクラ、四角豆、菜豆、冬瓜などが収穫中。

大根間引き菜、サトイモ、ネギなどの収穫が始まる予定です。

□ハウスの中では、ミニトマト、ピーマン、カラーピーマン、ししピー、紫ササゲ、食用ホオズキ、スイートバジル、シナモンバジルなどが収穫中。



〈こぼれ種のミニトマト〉

水やりもしていないのに、こんなに大きくなって、元気です! だから、こぼれ種っておもしろい!